

2016年(平成28年)6月7日(火曜日)

日本経済新聞 12

大型蓄電設備を受注

日本電産 独大手から85億円で

日本電産は独電力大手ステアグから大型蓄電設備の設計や建設を受注した。受注額は7000万台(約85億円)。合計出力は9万キロワットで、リチウムイオン電池を使う。ステアグがドイツの6カ所で運営する石炭火力発電所に設置する。気象条件などで電力需要が急増した時に蓄えた電気を使って電力網を安定させる。

日本電産は電力向けなど産業用の設備事業の強化を進めている。

日本電産のイタリアの子会社がステアグから建設を一括で受注した。

中核のリチウムイオン電池は韓国LG系から調達する。2017年初めまで稼働する予定だ。

日本電産は電力などが産業分野の事業拡大に注力している。欧州では買収

したイタリアのプラント設備メーカーが中心になつて顧客開拓を進める。ロシアでは石油や天然ガスのパイpline用大型モーター、チリでも電力網設備をそれぞれ受注している。